

科目名	日常生活活動評価学	担当教員	山中正紀 信太雅洋 世古俊明 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	2年次	後期	1単位	講義

科目概要	本科目では、「日常生活活動学（理学療法）」で学んだことを基に、動作能力の評価バッテリーや動作分析方法について学習し、対象者の有する動作能力および問題点を客観的に測定し、分析する能力を養う。また、評価結果および問題点を統合して具体的生活像を理解するとともに、対象者の安全で能動的な生活を獲得するための手順や目標設定についても学び、客観的事実に基づいた分析力や判断力を養う。
学習目標	1. 日常生活活動評価の目的、種類、方法を理解し、説明することができる。 2. 日常生活活動の基本動作の観察・分析を理解し、正常性と異常性を説明することができる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	ADL 関連評価	ADL、IADL 評価バッテリー	各種の評価バッテリーおよび評価方法を理解し、説明できる。	
2	姿勢評価	姿勢の観察および分析	姿勢の観察・分析を理解し、理想的姿勢および不良姿勢を説明できる	
3	基本動作①	寝返り動作の観察および運動分析	寝返り動作の観察・分析を理解し、その正常性と異常性を説明できる。	
4	基本動作②	起き上がり動作の観察および運動分析	起き上がり動作の観察・分析を理解し、その正常性と異常性を説明できる。	
5	基本動作③	立ち上がり動作の観察および運動分析	立ち上がり動作の観察・分析を理解し、その正常性と異常性を説明できる。	
6	基本動作④	歩行動作の観察および運動分析 1	歩行動作を運動学的・運動力学的に理解し、正常歩行を説明できる。	
7	基本動作⑤	歩行動作の観察および運動分析 2	歩行動作の観察・分析し、その正常性と異常性を説明できる。	
8	基本動作⑥	階段昇降動作の観察および運動分析⑥	階段昇降動作の観察・分析を理解し、その正常性と異常性を説明できる。	
評価方法		筆記試験・レポート（90%）、受講態度（10%）		
教科図書		編集伊藤利之、江藤文夫：新版日常生活活動（ADL）－評価と支援の実際－、医歯薬出版株式会社、2010 隈元庸夫：症例動作分析、ヒューマンプレス株式会社、2017		
参考図書		奈良勲、鶴見隆正：標準理学療法学専門分野 日常生活活動学・生活環境学 第4版 医学書院、2012 細田多穂監修：シンプル理学療法学シリーズ 日常生活活動学テキスト 改訂第2版、南江堂、2014		
学習の準備		授業のテキスト当該箇所を読んでおくこと		
オフィスアワー		在室時はいつでも可能		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				